

企画展 浅野文庫の和書と漢籍



「はちかづき」(写本)
奈良絵本(江戸時代)

期間 平成27年 2月14日(土) ▶ 3月15日(日)

- 期間中の開館時間／火～金曜日(9:00～19:00)、土・日曜日(9:00～17:00)
- 期間中の休館日／月曜日

会場 広島市立中央図書館 2階 展示ホール

「新刻出像官板大字西遊記」
(版本)(明代)



講演会

浅野文庫の和書と漢籍

第一部 「浅野文庫の和書」

- 講師／頼 祺一 氏 (広島大学名誉教授、頼山陽史跡資料館館長)

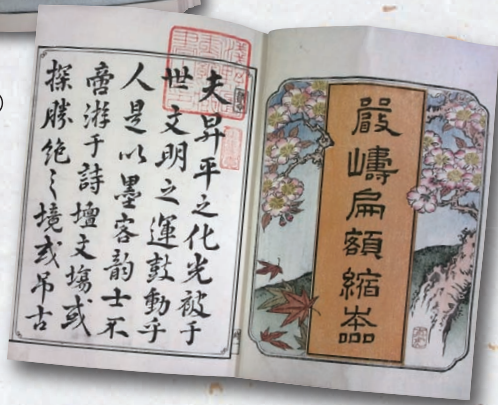
第二部 「浅野文庫の漢籍」

- 講師／磯部 彰 氏 (東北大学教授)
- 日時／平成27年 2月28日(日) (13:30～16:30)
- 会場／広島市立中央図書館 3階 セミナー室
- 定員／60名
- 対象／どなたでも
- 申込方法／来館、電話、FAX、HPの専用フォームからのお申し込み
[平成27年2月1日(日) 午前9時より受付開始]

● 展示資料



『嚴島扁額縮本初編』(版本)
(江戸時代)



広島市立中央図書館が所蔵している特別コレクション「浅野文庫」の和書と漢籍の原本を十数点展示します。「和書」とは江戸時代末までに日本人により著された本のことで、「漢籍」とは古代から辛亥革命までに中国人によって著された本のことです。どちらも東洋古来の方法で作られ、現在の本とは紙質、装訂、印刷技術などに違いが見られます。この機会に、日頃は目にする事の少ない「浅野文庫」の収蔵品を通して、和書と漢籍の世界に触れてみませんか？



『百人一首』(写本)(江戸時代)

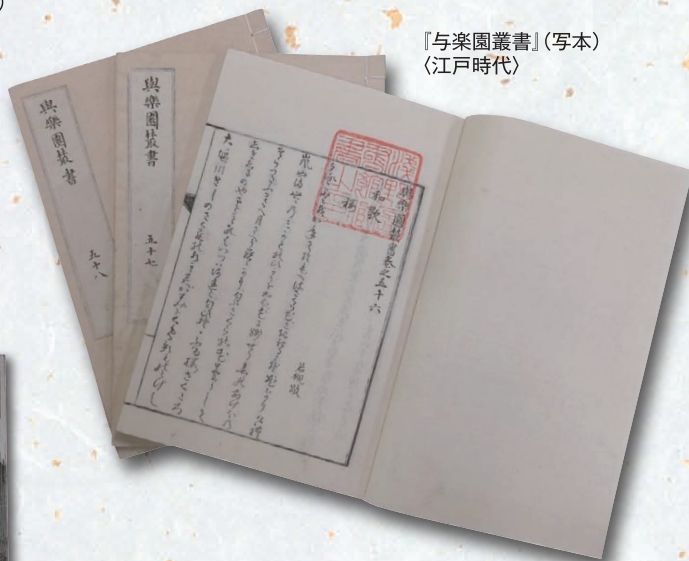
● 浅野文庫

旧広島藩主浅野家から寄贈を受けた和書・漢籍・図記類のうち、疎開により原爆の被災から免れた約1万点。和書には、木版本の「平家物語」「新刊吾妻鏡」や、「百人一首」「はちかづき」「浜松中納言物語」などの写本があり、漢籍には、中国南宋代に刊行されたと言われる「増廣箋註簡齋詩集」や明代に刊行された「西遊記」などがあります。

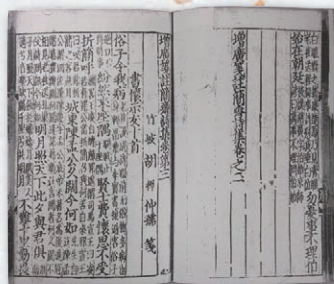
浅野家の歴代藩主の多くは好学とのことで、浅野文庫には当時でも入手がたい貴重な資料が多数含まれています。



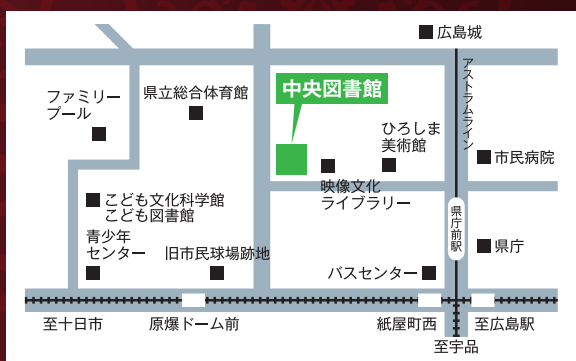
『革究図考』(版本)
(江戸時代)



『与楽園叢書』(写本)
(江戸時代)



『増廣箋註簡齋詩集』(版本)
(南宋代)



■ お問い合わせ・講演会のお申し込み

広島市立中央図書館

広島市中区基町3番1号

TEL 082-222-5542

FAX 082-222-5545

<http://www.library.city.hiroshima.jp/>